

東京生まれにこだわって、誰もが知っている名文具の、知られざる開発秘話や進化の歴史についてご紹介します。  
目の前の見慣れた文具が、ちょっと愛しい「仕事の相棒」になるかも？

## ぺんてる サインペン

(1963年生まれ)

### 大統領の愛用品となり 宇宙も旅した「サインペン」

今となっては一般名詞と化しているが、「サインペン」は、本来、ぺんてるが自社商品に名づけた固有名詞である。この本家本元のサインペンを開発した人物こそ、ぺんてるの創業者、堀江幸夫氏だ。8年にわたる研究の末、1963(昭和38)年に、油性ペンの難点だった「滲み」や「裏写り」を克服した世界初の水性サインペンを完成させる。しかし、当初、その売れ行きは芳しいものではなかった。

「名前をサインする機会が多いアメリカではどうだろう?」。そう考えた堀江氏の狙いは的中した。同商品をシカゴ国際見本市に出展したところ、その書きやすさをアメリカ人は大絶賛。堀江氏は持参したサインペンをサンプルとして無料で配布した。そうしてアメリカに上陸したサインペ



ンの1本が、めぐりめぐって、ジョンソン大統領の手に渡る。その書き味を気に入ったジョンソン大統領は同サインペンを24ダースも発注。この話をマスコミが取り上げ、サインペンは瞬く間に、その知名度を上げた。

さらに、ぺんてるのサインペンは、無重力空間でもインク漏れがしないことからNASAの有人宇宙飛行計画「ジェミニ」に乗船し、宇宙を旅した。どの日本人よりも早く、宇宙へ飛んだことになる。これにより、国内外から注文が殺到したことは言うまでもない。

不動の地位を築いたぺんてるのサインペン。当初は黒・赤・青の3色展開だったが、現在では全8色に。なお、120以上の国と地域に販売網を広げているほか、「筆タッチサインペン」、「筆文字サインペン」など、ラインナップも広げ、新たなファンを国内外で獲得し続けている。



ペン種：水性ペン ペン先：アクリル繊維  
インク色：緑、青、赤、黒、黄色、桃色、空色、橙  
サイズ：18×13×133mm  
ぺんてる株式会社 <http://www.pentel.co.jp>

- 2 ■ 東京生まれの名文具／ぺんてる サインペン
- 3 ■ 巻頭インタビュー 私流、未来のつくりかた／林家たい平さん 落語家
- 6 ■ Let's enjoy 課外授業！／マイビールを造る
- 8 ■ すこやか生活アーカイブ／心と体を癒やす、質のよい眠り

かがやき 夏  
2017 Summer  
No.545

#### ■ 共済組合からのお知らせ

- 10 特定健康診査・特定保健指導のご案内
- 11 こころとからだの総合健康管理事業のご案内
- 12 人間ドックのご案内
- 14 保健事業検討委員会について
- 15 災害にあったとき／年金事務所から国民年金への加入勧奨通知が届いたら!
- 16 標準報酬制についてのお知らせ
- 17 公費医療助成の届出
- 18 被扶養者の要件確認について
- 19 限度額適用認定証のご案内

- 20 療養費・家族療養費
- 21 柔道整復師の施術について
- 22 今年度中に60歳、65歳を迎える組合員の皆さまへ
- 24 退職を考えている方、年金に関して個別に相談したい方
- 25 障害年金の主な傷病例のご紹介／年金受給資格期間が短縮されます
- 26 貸付け事業のご案内
- 28 保険料率の改定
- 30 健康セミナーのご案内

- 31 森林セラピーのご案内
- 32 かがやきメイト通信

#### ■ 東京都教育委員会からのお知らせ

- 28 メンタルヘルス対策事業のご案内
- 33 「コンプライアンス推進・服務事故防止」月間

#### 34 ■ クイズ [世界のこたわさ]

読者プレゼント  
[かきたねキッチン キューブBOX]

